

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】平成 23 年 9 月 8 日 (2011.9.8)

【公開番号】特開 2010-34325 (P2010-34325A)

【公開日】平成 22 年 2 月 12 日 (2010.2.12)

【年通号数】公開・登録公報 2010-006

【出願番号】特願 2008-195484 (P2008-195484)

【国際特許分類】

H 0 1 L 33/48 (2010.01)

【F I】

H 0 1 L 33/00 N

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 7 月 25 日 (2011.7.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

側面と底面を備えた開口部を有するパッケージと、前記底面に露出されたリードフレームと、を備えた発光装置であって、

前記リードフレームは、前記側面に、屈曲された反射部を有し、該反射部の内壁面の一部が前記パッケージの内部に位置する事を特徴とする発光装置。

【請求項 2】

前記開口部の側面は、前記内壁面の一部を覆う部分よりも前記開口部の上面側において、前記底面に対する傾斜角が、前記反射部の前記底面に対する傾斜角より小さい面を有する請求項 1 に記載の発光装置。

【請求項 3】

前記開口部内に蛍光体を含む封止部材を有し、前記蛍光体は、少なくとも前記内壁面の一部を覆う部分よりも前記底面側に配置される請求項 2 に記載の発光装置。

【請求項 4】

側面と底面を備えた開口部を有するパッケージと、前記底面に露出されたリードフレームと、を備えた発光装置であって、

前記リードフレームは、前記側面に、屈曲された反射部を有し、

前記開口部の側面は、前記パッケージと前記反射部の内壁面との界面よりも前記開口部の上面側において、前記底面に対する傾斜角が、前記反射部の前記底面に対する傾斜角より小さい面を有する発光装置。

【請求項 5】

前記開口部内に蛍光体を含む封止部材を有し、前記蛍光体は、少なくとも前記パッケージと前記反射部の内壁面との界面よりも前記底面側に配置される請求項 4 に記載の発光装置。

【請求項 6】

前記内壁面は、切欠き又は溝を有し、該切欠き又は溝が前記パッケージの内部に位置する請求項 1 ないし 5 のいずれかに記載の発光装置。